

保存版

元気いっぱい、明るさいっぱい、かしこさいっぱい

木曾呂っ子

よい子の手引き



川口市立木曾呂小学校

この「よい子の手引き」は、保護者の皆さんに、木曾呂小での指導の
実際を知っていただき、木曾呂っ子たちが、

- しっかりとした生活習慣を身につけた子に育つように
- ルールを守ることができる子に育つように
- 自分のことが自分でしっかりとできる子に育つように
- 優しい気持ちで接することができる子に育つように

という目的のため、ご家庭と学校が協力しながら、同じ目線で共に
歩み、大切な子どもたちを育てていくことができるように、つくられたも
のです。



子どものほめ方、叱り方

～子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせる魔法の言葉～

基本的な生活習慣を子どもたちに身に付けさせるためには、大人の言葉がけが大切です。してはならないことについては厳しく叱り、できたことにはほめて励ましながら粘り強く接することが必要です。

努力している子 よく身に付いている子

[言葉かけの例]

「〇〇ちゃんのがんばっている姿は、弟や妹のお手本になっているよ。」
「すごく成長しているね。とてもうれしいよ。」
「いつも努力しているからできるんだね。」
◎言葉や態度に喜びを表して心を込めてほめましょう。

努力しているが なかなか身に付かない子

[言葉かけの例]

「努力している姿が立派だよ。」
「あきらめなくて一緒にがんばろう。」
「少しずつ〇〇ができるようになってきているね。努力が実ってきているよ。」
「もう少しでできるようになるよ。」
◎少しの成長でもほめてあげたり、根気強く取り組もうという気持ちにさせたりする言葉をかけましょう。

身に付いているのに身に付いていない と厳しく評価している子 (自信が持てない子)

[言葉かけの例]

「今のままでいいんだよ。十分だよ。」
「すごく成長しているね。自信をもって。」
「〇〇ちゃんのこういうところ(具体的に)が、すばらしいよ。感心するよ。」
◎自分に厳しい子や自信の持てない子には、どこがどうよいのかほめてあげ、自信や安心感を与える言葉かけをしましょう。

努力しようとしなくて 身に付けようという意識が低い子

[言葉かけの例]

「失敗したっていいよ。やってみよう。」
「一緒にがんばってみよう。」
「〇〇ちゃんならきっとできるよ。」
「このままでいいのかな。」
◎意識の低い子には、自信を持たせたり、励ましたりする言葉をかけ、自らやってみようという気持ちにさせましょう。

約束やルールを守らなかったり、 人に迷惑をかけたりにしている子

[言葉かけの例]

「約束やルールの意味をよく考えてみてごらん。」
「自分のとった行動はそれでよかったのかな。」
「〇〇ちゃんはその態度や行動は、みんなの迷惑になっているよ。」
「〇〇ちゃんのことを大切に思っているから話しをするんだよ。」
◎子どもの人格を否定せず、誤った行動についてのみ叱りましょう。

子どものほめ方、叱り方

- ◎子どもへの愛情や期待が子どもの心に伝わるよう、本気になってほめること、叱ることが大切です。
- ◎どこがどうよいのか、具体的にほめてあげましょう。
- ◎叱ったあとの「見守り」や「見届け」を大切にしましょう。
- ◎変わろうと行動した瞬間を見逃さず、ほめてあげましょう。

時刻を守る

①通学班の集合時刻や放課後の下校時刻を守ろう

- 決められた時間(8:15)までに通学班で登校する。
- 放課後は冬季(12~1月)・・・4時00分
- 春季秋季(2月、11月)・・・4時30分
- 夏季(3~10月)・・・5時00分の帰宅時刻までに帰宅する。

②授業や活動の始まる時刻には準備をして座ろう

- 次の時間の準備をしてから、休み時間にする。
- 学習の始まりの時刻になる前に、着席する。

身の回りの整理整頓をする

③ぬいだ履き物のかかとをそろえよう

- ぬいだくつは、きちんとかかとをそろえる。

④机やロッカーの整理整頓をしよう

- 机の上や道具箱は使いやすいように整理する。

進んであいさつや返事をする

⑤自分からはっきりとあいさつしよう

- 誰に対してもしっかりと声を出して自分から「おはよう」「こんにちは」「さようなら」等のあいさつをする。
- 朝、教室に入るときは、先生や友だちに大きな声であいさつを交わす。

⑥「はい」と、はっきり返事をしよう

- 名前を呼ばれたら、「はい」としっかりと声出して返事をし、しっかり立って、周りに聞こえる声で、「・・・です。」まで、はっきりと答える。

進んであいさつや返事をする

⑦ていねいな言葉づかいをしよう

- 目上の人には、敬語をきちんと使う。
- 名前を呼ぶときは男女問わず、「〇〇さん」と敬称をきちんとつける。

⑧相手の気持ちを考えたやさしい言葉をつかおう

- 人を傷つける言葉や乱暴な言葉を使わない。

学校での約束<危険なところであそばない>

校舎外…ブロック塀、フェンス、門の上、駐車場の周り、ピロティ

校舎内…防火シャッターの下、バルコ、非常口の周りなど

学習のきまりを守る

⑨学習の準備を整え、授業にのぞもう

- 登下校の際には通学帽をきちんとかぶる。登下校だけでなく、遊ぶときも防犯ブザーを携帯する。
- 持ち物にはすべて名前を書く。
- 学習では、下敷きを使い、正しい鉛筆の持ち方でていねいな字を書くよう心がける。
- 絵の具や習字道具は、原則としてその日のうちに持ち帰り、筆やパレットは必ず洗う。
- 体育活動の際には長髪はゴム(体育活動の妨げにならないようゴムのみのも)で結ぶ。
- ナフキン・はし・マスク(マスクは掃除でも使用)は全員が毎日使用する。
- 学習に必要なものを持ってこない。
- ランドセルにつけるものは防犯ブザーのほか、お守り等を1つ程度とし、過剰にならないようにする。
- 学習用具について、

<筆箱の中>

※筆箱はカンペンや派手なもの(デコ・ストラップ・バッグタイプ)は避ける。物を大切にする、筆箱の整頓等の観点から筆箱はいわゆる箱形のものをお願いします。

○鉛筆5本(家で必ず削ってくる、遊び道具となる鉛筆やキャラクター物は不可、無地の物を)

○赤青鉛筆1本○消しゴム(白色でよく消える物)○定規(折りたたみ不可)

○名前ペンシャーペン(不可)

<道具袋の中>

○のり、はさみ、セロテープ

※以上の物以外は基本的に入れない。学年に応じて加えるものがある場合もあるので、4月の学年だよりを必ず参照してください。

⑩人の話は相手を見てしっかり聞こう

- 発表している人に体を向けて、しっかり話を聞く。

生活のきまりを守る

⑪人の集まる場所では静かにしよう

- 電車やお店の中など、人の集まる場所では大きな声を出したり走り回ったりしない。
- 公園では、その公園の注意事項をよく確認し、ルールを守って遊ぶ。(近隣の人にも迷惑をかけないように気をつける)
- マンションやアパートでは大きな声を出して走り回ったり、遊んだりしない。落下に気をつけ、危険な遊びをしない。

⑫進んでそうじをして、身のまわりをきれいにしよう。

- そうじの時間はマスクを着用し、協力しながら時間に終わるように黙働(黙ってそうじ)する。

<その他>

- ・欠席をするときは、メールフォームを活用して連絡しましょう。※兄弟が連絡帳を届けるのも可。
- ・忘れ物をして学校にとりに来ないようにしましょう。
- ・子どもだけで出かけるときには、防犯ブザーを携帯し、家の人に行き先・帰宅時刻をきちんとつげましょう。
- ・友だち同士で、おごり・おごられ、ものやお金の貸し借りをしないようにしましょう。
- ・エアガンや公道上でのキックボード、ボード系、ローラー系の遊びは事故防止のためしないようにしましょう。
- ・放課後、校庭で遊ぶ際には、決められた場所に自転車を止め(きちんとカギをかける)、飲食物・金銭を持ち込まないようにしましょう。また、カード類・電子ゲーム類では遊ばないようにしましょう。
- ・染毛やパーマ、化粧・マニキュア等は、健康上の問題やトラブルに巻き込まれる等の問題もあるのでやめましょう。

スマートフォン等について

○スマートフォンや携帯電話の扱いは保護者の責任で、ルールを定めてください。

○不必要に持たせないようにしてください。

ルール例：午後7時以降は使わない。課金をしない。保護者が見られるようにしておく。
フィルターをかける。

SNSについて

○SNSの扱いは保護者の責任で、ルールを定めてください。

ルール例：友達の画像等をオンライン上にアップロードしない。人を傷つけるような表現をしない。
保護者が見られるようにしておく。

オンラインゲームについて

○オンラインゲームは、極力やらせないようにしてください。

※オンラインゲームを背景としたトラブルが大変増えてきています。

スマートフォンや携帯電話を子どもに持たせる前に
しっかりとしたルールを定めましょう。

持たせてからルールを作るとうまくいかないことが多いです。

してはならないことがある!

だれもが、自分の夢をかなえたいと願っています。
そのみんなの夢を大切にするためにも、「してはならないこと!」があります。

「してはならないこと!」をしないこと。そして…、
『夢に向かって』はばたこう!

人の物を
とつては
いけません。

うそを
ついては
いけません。

人を
いじめては
いけません。

人の心や体を
傷つけては
いけません。

**悪いことをしてはいけません
ならぬことは、ならぬものです**

家庭での「さ・し・す・せ・そ」

さ

支える

子どもは親の支えが必要です。親は頼れる存在なのです。

し

信じる

子どもは失敗することもあります。信じて待つ心のゆとりを持ちましょう。

す

すすめる

親として、人生の先輩として、子どもに生きるためのヒントやアドバイスを与えましょう。

せ

背中教える

子どもは親の姿をよく見て成長していきます。子どもは口で言うよりも、時には親がやってみせる姿がとっても大切です。

そ

そっと見守る

子どももいつかは親から離れ、独り立ちさせなければなりません。そっと見守りながら、子どもを応援してあげましょう。